

## 放送ストリーミング情報収載

### 放送ストリーミング情報【2024No.340】（HP 収載）

分類：ネットストリーミング

局等：Digital Concert Hall

作曲家：イゴール・ストラヴィンスキー

曲名：ヴァイオリン協奏曲ニ調

演奏：ヴィルデ・フラング（ヴァイオリン）／ハンヌ・リントゥ指揮ベルリンフィル

関連サイト：<https://www.digitalconcerthall.com/ja/concert/55070>

2024年4月14日ベルリンフィル大ホールでの演奏です。



リントゥとフラングがストラヴィンスキーで共演

フィンランドの指揮者ハンヌ・リントゥが自国の音楽を携えてベルリンフィルにデビューします。フィンランド国立歌劇場の首席指揮者であるリントゥがこの公演で指揮するのは、サーリアホ《冬の空》とシベリウスの北欧らしい辛辣さのある交響曲第7番。ほかにも、メシアンの《輝ける墓》とヴィルデ・フラングが独奏を務めるストラヴィンスキーのヴァイオリン協奏曲が演奏されます。

上記の他に下記が演奏されました。

オリヴィエ・メシアン 《輝ける墓》

アントニオ・マリア・モンタナーリ

ヴァイオリン・ソナタニ短調よりジーク（通奏低音なし）

ヴィルデ・フラング（ヴァイオリン）

カイヤ・サーリアホ 《冬の空》

ジャン・シベリウス 交響曲第7番ハ長調 op. 105

ストラヴィンスキーのヴァイオリン協奏曲、メシアンの《輝ける墓》は初めて聴く曲です。

ストラヴィンスキーのヴァイオリン協奏曲は切れ味のよい曲で、ヴィルデ・フラングのヴァイオリンもスターカットを小気味よく聴かせてくれます。

メシヤンの《輝ける墓》は騒々しい表情と清逸な表情が交互に現れます。  
モンタナーリのヴァイオリン・ソナタニ短調は、アンコール曲でこれも初めて聴く曲  
でバロックの舞曲風の曲です。

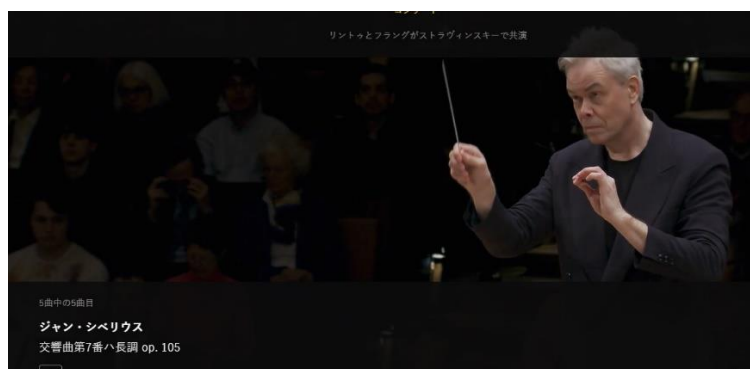
以上は、音の鮮やかさ、賑やかさを競うような曲で、LAN 受信経路における最近の  
LAN アクセラレイター、LAN iSilencer、Crystal EpL に加えてフェルトダンプ LAN  
端子などの効果を、それらを残さずに拾い上げるようになっています。

サーリアホの《冬の空》とシベリウスの交響曲第7番は、フィンランドの曲で、フィ  
ンランドの指揮者リントウの得意とするものです。

サーリアホの《冬の空》は、現代曲で神秘的な表情に包まれます。

シベリウスの交響曲第7番は、北欧の景色を思わせる抒情的な雰囲気と重厚な雰  
囲気が交叉します。

このような多彩な表情の表現に LAN 受信経路における最近の対策が効果を発揮して  
います。



以上